

小～中規模店舗・施設向け 業務用エコキュート **小型機 15kW**

加熱能力 **15kW**
貯湯量 **500L 1000L 1500L**
年間加熱効率 **4.0**

グリーン購入法

CHP-151005SK-3

熱源機1台で
500Lタンク **3**台
連結可能!
×8ユニット計 **12**トン
1リモコンでコントロール



■ 1台の熱源機に連結可能な貯湯タンクは3台

熱源機1台につき3台の貯湯タンクを連結可能です。さらに×8ユニット計24台12トンの貯湯タンクを接続することができ、リモコン1機にてコントロールが可能です。(構成=熱源機×8台、貯湯タンク×24台、リモコン×1機)
1日あたり最大40トン※の給湯が可能で、小規模施設から中規模施設までカバーできます。

■ 490kPaの高圧力と25Aの配管口径でたっぷり給湯

高圧力を活かせる25Aの配管口径で、一度にたくさんのお湯を供給することが可能です。

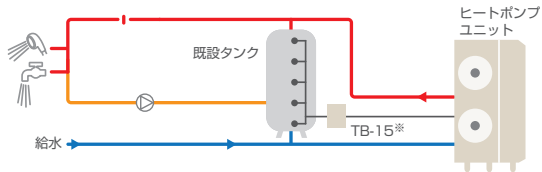
■ 2025年12月にマイナーチェンジ

2025年12月のマイナーチェンジで30Aブレーカに対応しました。

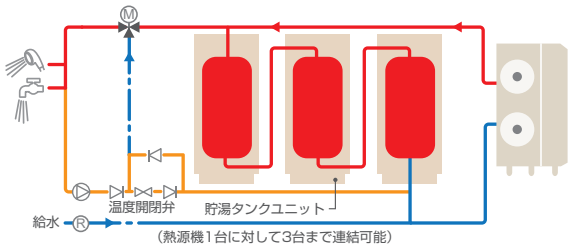
※出湯温度 60℃換算、外気温度 7℃、20H稼働の場合

新型タンクユニット

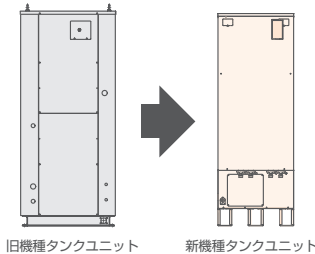
既設タンクと組み合わせた場合



タンクを複数台接続した場合



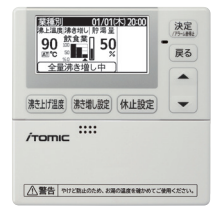
スリム化・体積比**68%**



旧型機のタンクユニットに比べて体積比68%。小型になったことで、現場搬入が容易になり、スペースを有効活用できます。

※TB-15：ターミナルボックス。熱源機とセットでの利用が必須となります。

多機能リモコン



CHP-R15(別売)

定休日などの休止設定や、ピークカット設定、沸き増し設定などが可能な多機能リモコン。
沸し上げ温度は65℃、70℃、75℃、80℃、85℃、90℃、自動の設定が可能です。

システム構成

種別	型番	貯湯量(L)	構成
ユニット	CHP-151005SK-3	500	熱源機 CHP-15H3×1台+タンクCHP-500TSK×1台
	CHP-151010SK-3	1,000	熱源機 CHP-15H3×1台+タンクCHP-500TSK×2台
	CHP-151015SK-3	1,500	熱源機 CHP-15H3×1台+タンクCHP-500TSK×3台
熱源機単体	CHP-15H3	-	熱源機 CHP-15H3×1台+ターミナルボックスTB-15×1台
リモコン	CHP-R15	-	-

関連商品のご紹介

価格はお問い合わせください。

防雪フード

雪対策として積雪・凍結の被害を小さくします。

上部固定金具／ワイヤセット

転倒防止のための金具セット。

風向ガイド

吹き出す方向が窓や通路側の場合に使用します。

高置台

熱源機を底上げします。積雪の深い地域などで使用します。

ご発注の前にご確認ください

①井戸水のご使用は製品の寿命に影響を与える場合がございます。ご使用を検討されている場合は必ず事前にご相談ください。②設置予定地域の騒音規制等に準拠する設置環境をご確認ください。また、必要により防音壁等の設置をご検討ください。③熱源機およびタンク容量等の選定につきましては、事前にご相談いただくことをおすすめいたします。

仕様（熱源機）

◆下記は日本冷凍空調工業規格(JRA4060:2014)に準拠

沸き上げ温度	℃	65 ~ 90
電源		三相 200V 50 / 60Hz
最大電流	A	28
冷媒側設計圧力	Mpa	低圧側 8.0 / 高圧側 13.2
塗装色		アイボリーホワイト（マンセル値 5Y 7.5/1 8分艶）
寸法（高さ×幅×奥行）	mm	1,850 × 906 × 456
製品質量 / 運転質量	kg	220 / 225
圧縮機	形式	密閉型ロータリーコンプレッサ
	電動機形式	D C ブラシレスモータ
	定格出力	kW 1.7 × 2台
クランクケースヒータ	W	72 × 2
送風機	W	プロペラファン 47W × 2台
ポンプ	W	DC282V-35W
空気熱交換器		強制空冷式クロスフィンチューブ
給湯熱交換器		螺旋型接触式
保護装置		過負荷保護 / 圧力保護 / 温度過昇防止 / 過電流保護
冷媒名 / 封入量	kg	CO ₂ / 1.37 × 2サイクル
1日の冷凍能力	ト	2.6
運転保証外気温	℃	-25 ~ 43
運転音（中間期）	dB	52

【注意】

- ・エコキュートは貯湯式の為、有効貯湯量は安全率（自然放熱）を見込んだ貯湯量（8割程度）として下さい。
- ・消費電力は圧縮機、送風機、ポンプを含むユニット全体の合計です。
- ・貯湯タンクの仕様に合わせて減圧弁を設置・設定して下さい。
- ・熱源機保護の為、必ず水道水を使用し、給水温度は「65℃以下（但し凍結しないこと）」でお使い下さい。

仕様（貯湯タンク）

貯湯タンク ユニット	最高使用圧力	kPa	490
	最大給湯流量	L/min	70
	タンク材質	-	SUS444相当
	塗装色	-	アイボリーホワイト

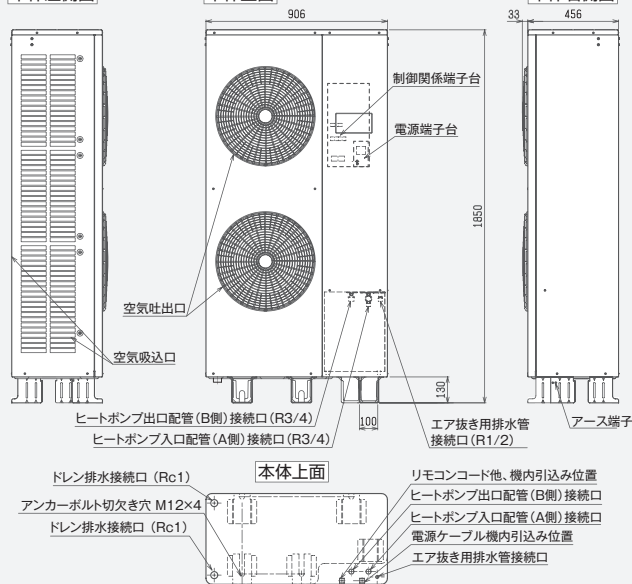
性能仕様

気温 DB / WB		℃	7 / 6	16 / 12	25 / 21	2 / 1	-7 / -8	
性能	65℃出湯	加熱能力	kW	14.7	15.0	15.0	13.9	12.9
		貯湯能力	L/h	225	268	314	200	186
		入水→出湯	℃	9 ⇒ 65	17 ⇒ 65	24 ⇒ 65	5 ⇒ 65	5 ⇒ 65
	一定モード	消費電力	kW	3.70	3.60	3.27	4.90	5.44
		年間加熱効率		4.0				
		寒冷地年間加熱効率		3.3				
90℃出湯	加熱能力	kW	15.0	15.0	15.0	14.0	13.0	
	貯湯能力	L/h	159	176	195	141	131	
	入水→出湯	℃	9 ⇒ 90	17 ⇒ 90	24 ⇒ 90	5 ⇒ 90	5 ⇒ 90	
	消費電力	kW	4.95	4.66	4.28	5.89	6.20	

寸法図

■ 熱源機

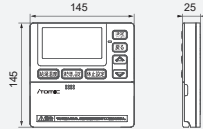
本体左側面



■ 熱源機リモコン

CHP-R15

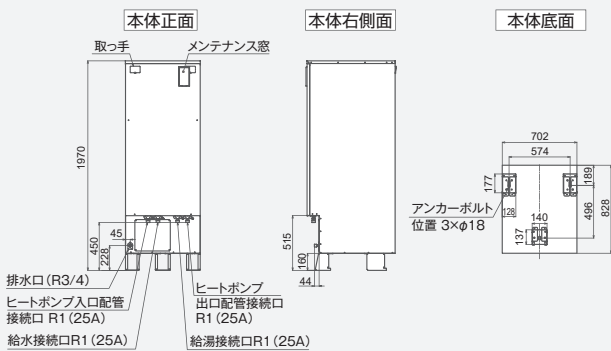
- 周囲温度 -10℃ ~ 43℃の場所に設置して下さい。



■ 貯湯タンクユニット

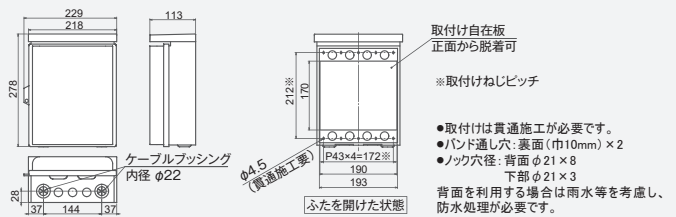
CHP-500TSK

型番	貯湯量 (ℓ)	質量 (kg)		寸法 (mm)			構造
		本体	満水	W	D	H	
CHP-500TSK	500	100	600	702	828	1970	密閉タンク500L×1基



■ ターミナルボックス

TB-15



【設置場所についての注意事項】

- 据え付けは、販売店または専門工事業者に依頼して下さい。●据え付けは、質量に十分耐える所に確実に行ってください。●台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事を行ってください。●可燃性ガスの漏れのおそれがある場所への設置は行わないでください。●機器を移動再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼して下さい。●基礎に固定されているか確認してください。●塩害地（海浜地区で潮風が直接当たる場所）、油（機械油を含む）の飛沫や蒸気、温泉地等の硫化ガスの発生する所、船舶・車両など、特殊な場所には据え付けしないでください。（塩害処理は耐塩害仕様と耐重塩害仕様があり、別途費用がかかります。）●高周波を発生する機械がある所は避けてください。●搬入試運転、日常の保守のため、メンテナンススペース、風吸込みスペース、通路、手すり等を確認してください。●設置場所までの経路ではタラップ、鉄梯子、ハッチ等は安全のため避けてください。●熱源機の吹出口、吸込口の近くに障害物を置かないでください。●性能が低下したり、保護装置が働いたり、運転ができないことがあります。●強い風が熱源機の吹出口に向かって吹きつけるおそれのある所は避けてください。●降雪地区でのご使用の場合、熱源機に防雪フードと高置台などを取り付けてください。また、積雪により製品が埋まりたり天板に積雪しないよう、雪よけを設置するか、あるいは雪かきを行ってください。●山間部や樹木の多い場所では、ネットの取付等の落ち葉対策を講じてください。●貯湯ユニットは、タンク内の湯水を排水するための排水溝を設けることが可能な場所に据え付けてください。また、火山による降灰等が発生する地域での設置には、ドレン水の詰りが発生しやすいので、ドレンエルボ部分は取り外して清掃できるようにしてください。●運転音や振動が他へ伝わったり増大したりしないよう強度が十分な場所を選んで機器を設置して下さい。●異常音が発生しないよう基礎の強度、水平度を充分確認して据え付けてください。●熱源機は屋外に据え付けてください。●熱源機は沸き上げ中や沸き増し中、および凍結防止運転中は運転音が発生し、冷風が出ますので、住宅近くやご近所の迷惑になる場所には据え付けしないでください。熱源機は夜間にも運転しますので特にご注意ください。

【電気工事についての注意事項】

- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据え付け説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用して下さい。●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう確実に固定して下さい。●漏電ブレーカを取り付けてください。●ブレーカの定格および電線の太さは内線規程に定められたものを使用して下さい。●アース線を必ず接続して下さい。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。●アース（接地）工事は万一の感電事故防止のため、電気設備技術基準および内線規程および据え付け説明書に基づき、電気工事士による D 種接地工事（接地抵抗値 100Ω以下）を行ってください。●リモコン接続線は中継接続や、電源線と同一管内に取めないでください。●電源電圧 200V±1.0% 以内、相間電圧アンバランス 3%以内でご利用ください。●電力契約の種類によって、電気料金単価が異なります。

【配管工事についての注意事項】

- 上水道に直結する場合は、当該水道事業者の条例に基づき認定水道業者が指定された配管材料を使って施工して下さい。●技術ガイドの水質基準に適合した水道水以外は原則として使用しないでください（保証の適用外になります）。井戸水などは腐食などにより漏水することがありますので、使用を検討されている場合は必ず事前にご相談ください。温泉水は使用できません。●使用方法に合わせた減圧弁を設置、設定して下さい。●各接続配管には必ずユニオン継手を使用し、給水接続口付近にはストレーナ、止水弁を取り付けてください。●給湯配管は100℃以上の耐熱性、耐食性を有する材料をご使用ください。（銅管、ステンレス鋼管等）●複数台を並列に接続する場合は、偏流を防止するため電動弁を取り付けてください。設置台数や使用方法により取付有無が変わりますので詳細は販売店にご相談ください。●階下への給湯を行う場合は、空気抜き弁・バキュームブレーカ・定流量弁などの負圧対策を行ってください。●異種金属を接続する場合は、絶縁フランジなどを使用して異種金属接触腐食対策を行ってください。●凍結のおそれがある場合には、凍結防止工事を行ってください。●タンク排水口は膨張水を排水するため、必ず開放とし排水ホッパーを設け、排水管は耐熱性・耐食性を有する材料を使用して下さい。（耐熱塩ビ管など）高温の膨張水が排出される場合があります。